

令和6年度 利用者、職員アンケート 集計結果

<熊本県ひばり園>

対象：本園の児童発達支援事業を3か月以上利用されている児童の保護者で
期間内に来園され御協力いただいた方と、本園の職員。

期間：令和6年9月1日～令和6年9月30日に配布、回収

令和7年3月10日公表

事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園
------	---

公表日 令和7年3月10日

*100%にならない設問は未回答あり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	94%	6%	広／狭／コーナーのある部屋と種類は豊富にあり、利用児の発達状態に合わせ部屋の貸し借りを担当職員間で工夫できている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	56%	44%	必要に応じて職員間で協力体制を整え柔軟にサポートを行っている。	こどもの状態や活動内容によっては、より手厚い支援が必要な時があるため、今後も職員間で協力する体制を整える。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	棚や靴箱の色分け、活動場所（部屋）の設定等、こどもの状態に合わせた環境設定を行っている。	その都度、生活空間の調整には時間を要している。バリアフリー化や情報伝達の方法については、利用者の声を聞きながら、工夫できると良い。施設の老朽化に伴い、一部の設備や環境の劣化が見られる。必要な部分から優先的に予算化して修繕等を進める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	19%		空調が効かないことが度々ある。蛇口の清潔さが気になるため、清掃の頻度や使い方の周知を改めて行う。子どもたちの活動に適した広い部屋や園庭などの整備ができるといい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	94%	0%		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	81%	13%		業務の多忙期には個別支援とグループ支援の間での連携がとりにくくなった。次年度は話し合いの時間帯を確保する計画。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	19%		意見収集後も業務改善への具体的な効果が十分に得られていない状況があるため、シートを活用して意見を視覚化し、それぞれの意見を活かせるよう取り組む。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	94%	6%		調査結果を職員全員に回覧し評価の低い項目の改善策を話し合う等の取り組みを行った。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	94%	6%	全職員が参加できる時間帯に研修を設定し、実施後には振り返りを行うことで成果や学びを確認し、それを実務に活かす取り組みができている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	13%	今年度に作成している。	プログラムの活用は随時検討を重ねより使いやすいものとなるよう取り組む。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	88%	6%	『子どもの希望』を追加した。	アセスメントの質については職員間でばらつきが見られるため、統一性と一貫性を高める取り組みを行う。

	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	81%	19%		職員同士も療育の見学を増やし、多職種で課題へのアプローチについて意見交換できる場を増やしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	94%	6%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	94%	6%		フォーマル、インフォーマルアセスメントの質については職員間でばらつきが見られる可能性がある。統一性を図る取り組みを検討する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	94%	6%		グループや合同時は目的やねらいが不明確な場合がある。活動後にしっかりと振り返りを行うことで、より効果的な支援を目指す。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	プログラムが連続して続く場合はその意図やねらいを必ずもつようになっている。必要に応じて保護者にも伝えている。 児と話し合い、希望を取り入れたプログラムをたてることもある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	94%	6%	当日の様子、状態をふまえて次を決めるようになっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		記録業務の効率化を図るため、必要な項目の記載に絞り、さらに次の支援に活かせる記録にできると良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	94%	6%	毎回、支援の方向性が正しいか振り返るようになっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		学校側の多忙さも影響し、相互理解を深めることが難しい状況。移行の支援会議を開くこともあるが、情報提供書を送るにとどまっていることも多い。機能強化事業を受託しており、それぞれの関係機関と連携をとっている。

	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育所訪問や幼保連絡会などを実施し相互理解のもと支援を行えるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	94%	6%	保護者の希望に基づき、情報提供書を発行している。要望があった際には会議にも出席している。	
	28	(28～30 は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100%	0%	機能強化事業を受託しており、地域の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図ると共に研修会を主催している。相談支援事業所を介して担当者会議を行うこともある。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	94%	6%	外部研修、園内研修は増えた。	新入職員の教育には、さらに力を入れる必要がある。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	94%	6%		
	31	(31 は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	0%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者との振り返りの時間が充分にあるのが当園の長所の一つ。 来園が難しい保護者には毎回の療育の様子を紙面で渡すようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	情報を掲示板にて紹介している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	半年ごとに実施している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	グループ活動および個別支援において、家庭連絡票や保護者記録などの紙面も活用している。	保護者とは毎回面談しているが、時間枠や職員体制の面で十分とは言いきれない。必要な方に実施出来る方法を検討する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	19%	学習会でブレイクタイム、グループで保護者同士が話せる時間がある。 今年度から難聴児同様な言語児も卒園児保護者会を実施し アフターフォロー行った。	懇談会や学習会の案内は行っているが、日時の設定により、参加が難しい保護者もいらっしゃるのではないか。またきょうだい同士の交流の場の設定は行っていないが、可能な方法を検討する。

	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	94%	0%		冷暖房に関しては、法人全体の問題であり、課題。必要な部分から優先的に予算化して修繕等を進める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	6%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	94%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	94%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	81%	13%	施設として『ひばり園広場』や『ナイストライ』事業の受け入れなど、地域の療育活動やボランティア、実習の受け入れを実施している。また、法人内の福祉センターが行う交流会にも参加している。	不十分なところもあるかもしれない。常に「知らせる」ことを意識して取り組む。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	6%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	94%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	94%	0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	94%	6%	年度初めに保護者に医師の指示書の有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	6%	園内外の危険箇所について職員で点検、共有している。改善点の検討、対応を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	81%	6%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	6%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	94%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	94%	0%		今後も組織的に考えていく。

事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園
------	---

公表日 令和7年 3月 10日

* 100%にならない設問は未回答あり

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	6%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・人数によっては、狭いと感じる時がある。 ・トイレトレーニングのスペースが狭い。 ・今のところ、狭いと感じたことはない。 ・広いスペース使用したくても、空いていないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ともお子さまの状態や活動の内容に合わせて部屋、中庭、公園などの園外を含め活動を提供していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	89%	7%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員をぎりぎりで回しているように感じる。 ・グループ時、目が行き届いていないことがあった。 ・個別が合同になることが昨年に比べ多いように感じた。 ・先生方の負担がわからないが、とても充実した時間を過ごしている。 ・もう少し、サポート体制があってほしい。 ・とても手厚い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置数が足りないのではと心配をおかけし申し訳ございません。皆様が安心して療育に通って頂けるよう職員一同取り組んで参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67%	17%	9%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・設備施設の老朽化。古くて暗い。 ・標識が見えづらい。 ・工夫してはいるが自治体が予算を付け整備すべき。 ・県唯一の難聴児の為の事業所なので、もっと予算をつけてほしい。 ・療育室の変更をこどもに分かりやすくしてほしい。 ・オムツ交換や子供用便器のあるスペースが、女性トイレの手前（区画的には女性トイレの一部に感じる）にあるため、男性が使用する際に躊躇してしまう。 ・床のクッション性がなく、頭などを打ったら危ないと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設は県立ではなく事業団が運営する民間施設です。毎年予算を検討し優先順位を付けて望ましい環境になるように整備を進めているところです。 ・共有トイレの使用につきましては、時間をずらして使用するなど出来る努力をしていきます。 ・今後もお子様の状態に合った配慮や環境整備を継続して行って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	80%	14%	6%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・古くて暗い。こどもが怖がっていた。 ・こどものことを第一に考えてくださってありがたい。 ・本当は県がもっと力を入れて、新しい建物を作るなりすべき。古い。 ・古く薄暗いのはずっと変わらず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記設問に同じ ・毎朝、掃除や消毒を行い清潔な環境を保てるよう努力していきます。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%	9%	2%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ子供が小さいため、特性に応じているのかよくわからない。 ・5~6年通っているが、やっと今年「その専門性による支援がなされている」ことに気づいた。 ・もっと専門性が欲しい。ここにくるから分かる、意味がある。 ・よく考えられた療育を受けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ともお子様のニーズや強み、関心、発達と保護者様のニーズを踏まえた支援計画を作成し、お子様にあった支援が出来るよう内容について検討していきます。 	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。							
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%	6%	0%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズに重さを置き過ぎ。もっと客観的に先生の視点で課題提起されても良い。 ・動物アレルギーへの知識不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もガイドラインに沿った、適切で具体的な支援を保護者様と話し合いながら提供できるように心がけて行きます。 	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91%	9%	0%	2%			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	89%	9%	0%	1%			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90%	10%	4%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育の記録案で、毎回の具体的支援内容が考えられていて良い。 ・臨機応変にこどもの興味関心に合わせた対応。こどももひばり園が楽しいと認識している。 ・定期的に、個別時に話が出来る。 ・固定化されて新しくは何もない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者様との振り返りや家庭療育票を活かし、お子様の状態に合った活動プログラムを工夫していきます。 	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	89%	4%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所へ訪問し、モニタリングをしてもらい大変な難かった。制度上難しいかもしれないが、児発センターとして地域療育の質の向上を目指す役割を果たすために併用事業所へも保育所等訪問支援のように、難聴児支援の内容に踏み込んだ支援をしてもらえると尚助かる。 ・訪問の報告書を活用し観察し具体策の説明がわかりやすい。ひばり園での連絡会時の幼・保の先生の反応も聞いてみたい。 ・もう少し密な連携と内容の可視化を。 ・気になることがあるとすぐに訪問を計画してもらいきめ細かい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見を有難うございます。複数事業所を利用のお子様への支援について、出来ることを検討し努力します。 ・今後ともご家庭、幼稚園保育園、ひばり園と情報交換を行い、お子様にあった支援を出来るように、取り組んでいきます。 	
	保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
		13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	90%	4%	0%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でできる家庭療育方法の研修などに参加したい。 ・難聴の学習会に、祖母も一緒に参加した。 ・都合で参加できなかった学習会の内容が知りたい。 ・土曜日開催にして欲しい。 ・ペアレント・トレーニング、親の関わり方や環境を学び生かしたい。 ・zoom、YouTube アーカイブあれば希望。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も保護者学習会を計画しておりますのでご参加ください。年間計画はオリエンテーション時お配りします。また、外部の研修（保護者向けのオンライン等）は、廊下の掲示版で紹介しておりますので、どうぞご利用ください。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	88%	9%	1%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の記録で様子を伝え、コメントをもらうことで、共通理解が来ている。 ・療育では、情報共有や相談の時間があるが、こどもの対応などもある為、ゆっくり相談できる環境があると良いと思う。 ・オンラインや電話等選択肢があると、伝えやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様との振り返りの家庭連絡票を活用し、共通理解が持てるよう取り組みます。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	84%	12%	1%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいことも相談にのっていただき有難い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも療育後の振り返りの時間を設定していきます。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90%	6%	1%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことでも共感して褒めていただくこともあり、励みになる。 ・いつも励まされ、また適切な助言をもらっている。 ・嫌な事を断った時、不機嫌な態度を取られたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も満足していただけるように、職員一丸となって研鑽して参ります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	48%	19%	9%	23%	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいのグループ参加ができないことについては、長所もある一方、当該の子どもの聞こえにくい世界を知る機会を得にくいことにもつながっているように思う。 ・きょうだいの支援や想いは全然してくれず、見学もNGのまま、側におれず寂しい思いをさせた。 ・きょうだいのイベントには参加したことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見をありがとうございます。きょうだいのグループへの参加は、利用児の支援を第一とする為参加できず申し訳ありません。今後は、見学をしていただいたり、きょうだいと一緒に参加できるイベント等も検討中です。
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81%	9%	2%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも助けももらっている。とても安心感がある。 ・職員に対する不満を相談したが、悪気はないとの回答に、悩んで相談したのに悲しくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。保護者様の気持ちに寄り添える支援をしていきます。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	88%	7%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み事がないか気にかけてもらい話しやすい雰囲気を作ってもらっている。 ・メールよりもLINEでのやり取りの方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達のツールについては、今のところメール・電話でお願いしています。今後、検討していきたいと思います。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	51%	23%	2%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する前にHPであまりほしい情報が得られなかった。1日の流れ、どういったこどもの悩みに寄り添ってくれるのか、悩みをどこに相談していいのかわからない人に寄り添ってほしい。 ・HPをあまり見ない（廊下等の掲示物をよく見る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが、閲覧者に必要な情報を提供するものとなるよう今後も努めて参ります。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%	4%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の共有について了承を確認するなど、細やかに配慮してもらった。 ・保護者自身が事業所に話した覚えのない個人情報、事業所側が知っていて不安になった。またグループでの職員と保護者同士の会話を聞いてしまった。世間話として気にされない方もいる。そんなきっかけで打ち解けることもあるが、共有していることか確認してもらえると安心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報へは細心の注意を払い対応して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	81%	9%	1%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを可能な限りホームページにアップしてほしい。 ・緊急時の対応を細かく聞き、すぐに対応できるようにしてもらえて安心して登園できている。 ・避難訓練しか知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは事業所内に保管しています。 ・各避難訓練を今後も計画し行いますので、ご協力よろしくお願いします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	2%	1%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・月一で全体ではあっているが、地震が起きた時にどう動くべきかわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、避難訓練へのご協力ありがとうございます。火災・地震・水害の訓練を交互に行っています。掲示板に実施日を掲示しておりますのでご確認ください。療育日に当たらない場合、参加出来ずにご指摘の様なことがあるかもしれませんが、ご相談いただくと担当より説明したり、参加していただけるようしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	81%	9%	11%	4%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84%	4%	0%	12%		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	94%	4%	0%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・前日から「明日ひばり園だから楽しみ！」と言うほど楽しみに通っている。 ・安心感があるかはわからないが、楽しく通っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様のその時の状態や興味関心に応じて、楽しくまた負担にならない活動になるようこれからも工夫していきます。また、信頼関係を深められるように、しっかりコミュニケーションをとっていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	2%	1%	2%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	89%	10%	1%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足しています。いつもありがとうございます。 ・相談事は、すぐに対応してくださっています。 ・行事等、色々なことを積極的に行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も満足していただけるように職員一同研鑽していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園			
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 1日		～	令和6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	81名	(回答者数)	81名
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 1日		～	令和6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同伴での通園により、子どもの様子を直接見て共有し、保護者と話し合いや相談を行う機会を持つことができる。	保護者様の思いを尊重しながら、一緒に考え、具体的な相談や助言、提案ができるように努めている。	職員のスキル向上に努め、研修により専門性を高めるとともにガイドラインや療育プログラムの活用や、保護者やこどもに対して思いやりや寄り添う姿勢を大切にする。
2	個別療育、集団療育、訪問支援を実施することで、子ども一人ひとりを包括的に支援できる仕組みを整えている。	個別担当と集団担当が情報交換を行い、子ども一人ひとりの状況やニーズを共有している。また、記録を共有することで、支援の一貫性と質の向上に努めている。	支援チーム会議を通じて勉強会や情報共有を行い、今後も計画的に取り組んでいく。多職種や複数の職員が連携し、様々な視点から子ども一人ひとりに適した支援を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化	民間の複合施設内にあるため、建物の老朽化や設備の更新に関して、大規模な改修が難しい。	整備計画を立て、毎年優先順位の高い箇所から順次改修工事を進めていく。
2	令和6年度に園内で作成した療育プログラムの冊子の活用と取り組み	令和6年度後期から使用しているが、実際の療育現場でどのように活用できるか、また療育に効果的に落とし込めるかが課題。	意見を出し合い、ブラッシュアップを図る。担当者(係)を決定し、必要な改訂を行い、改善を図る。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園
------	---

公表日 令和7年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	91%	9%	支援計画の内容に合わせて持参している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	73%	27%	ケースに応じて、複数回の訪問が必要な場合には、各職員が時間を調整して対応している。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	82%	9%		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	#DIV/0!	#DIV/0!		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	64%	36%		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	91%	9%		

	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	64%	36%	訪問先の同意は得ているものの、訪問先の意向が十分に反映できていない場合もあり、連携しながら支援計画にその意向を反映させていけるよう取り組みたい。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	64%	36%	アセスメントは充分に行えていないケースもある。今後一貫性のあるアセスメントが行えるよう取り組む必要がある。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	#DIV/0!	#DIV/0!		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係	100%	0%		

		機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	”	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	73%	27%	児童発達支援の研修を訪問支援事業に活かしている。必要に応じて地域の保健師や関係医療機関とも連携している。	次年度の研修計画を立てるにあたり、職員の希望を確認し、より効果的な研修を実施できるよう準備する。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	91%	9%	説明が適切でなかった園もあった。担当者会議で事前に話し合う必要があった。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	82%	18%		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申	100%	0%		

		入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	91%	9%		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	91%	0%		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	0%		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	91%	0%		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	91%	9%		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団
多機能型指定障害児通所支援事業所
熊本県ひばり園

公表日 令和7年3月10日

* 100%にならない設問は未回答あり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が 整えられていますか。	50%	14%	0%	34%		
	2	プライバシーに配慮された面接 室等が整えられていますか。	62%	4%	0%	32%	・園での普段の様子を見ていただ いて友達の関わり方やルールへの理解 のアドバイス優先なので、いつも適 切に訪問支援を行ってもらい感謝し ている。	・ご意見ありがとうございます。今 後とも保育所と協力し訪問支援を実 施して参ります。
	3	事業の目的が適切に説明されて いると思いますか。	92%	2%	0%	4%		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間 について、相談の上決定されて いますか。	92%	4%	2%	0%		
適切 な支 援の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提 供できる職員（職種や人数）体 制だと思えますか。	86%	8%	4%	0%	・利用前からメインで保育所訪問の 利用を伝えているので少ないと思 う。 ・もっとサポート体制がほしい。 ・難しいように感じる。	・ご要望にお応えできておらず申し 訳ございません。状況に応じて回数 を増やすなど検討することも可能で すのでご相談ください。 ・保育士と言語聴覚士、心理士など 多職種、2名で訪問を行うことも実 施しております。ご要望がありまし たら個別担当にご相談ください。
	6	こどものことを十分に理解し、 こどもの特性等に応じた専門性 のある支援が受けられていると 思えますか。	86%	8%	0%	0%	・個別、グループで接していない先 生が訪問する際、本当にわかっている かわからない（事業所内で情報が 共有されているとはいえ）	・不安な気持ちを抱かせてしまい申し 訳ございません。個別担当、訪問 担当で訪問の前の情報共有を今後も 徹底します。その際に訪問担当から 保護者様に直接お話を聞くこともあ るかと思えますのでご協力お願いい たします。また、ご要望がありまし たら個別担当が訪問支援を行うこと も可能ですのでご相談ください。
	7	こどものことを十分に理解し、こ どもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、保育 所等訪問支援計画（個別支援計 画）が作成されていると思いま すか。	94%	2%	0%	2%		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支 援計画）には、訪問先施設や担 任等の意向が盛り込まれている と思えますか。	72%	4%	2%	12%		

	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	#####	#DIV/0!	#####	#####		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	2%	0%	6%		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	90%	4%	0%	4%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96%	0%	0%	2%		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	2%	0%	2%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	82%	6%	2%	8%		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	86%	6%	2%	4%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	86%	4%	8%	0%	・定期的かはわからない。	至らない点があり、申し訳ございません。個別やグループの療育後などに相談しやすい雰囲気ができるよう努めて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	0%	2%	2%		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86%	8%	0%	4%	*	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	4%	2%	0%		
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	88%	2%	0%	8%			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	88%	0%	2%	8%	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	96%	0%	0%	2%	・ひばり園ー保護者は話し合いがあるが、幼稚園ー保護者の結果報告はないのでどう感じ活かしているのか聞きたい。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	66%	10%	4%	24%	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	0%	0%	2%	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	68%	8%	0%	16%	
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	0%	0%	8%	
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	94%	2%	0%	0%	
	28	事業所の支援に満足していますか。	90%	6%	0%	0%	・年に1,2回ですが、繋がりをもった支援が継続できるといい。

事業所名		公表日 令和 7年 3月 10日				
社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園		利用 児童数 令和 6年 5月 31日			回収数 34/40	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	80%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に助言をもらい有難い。 ・助言をすべて受け入れるのは難しい。 ・難聴児への関わり方、聴こえについて質問でき、質問に答えてもらっている。 ・保育者の顔が見えていない時は伝わっていないことが分かった。目を合わせて指示を行うなど改善でき良かった。 ・専門的な視点からのアドバイスがとても勉強になる。 ・相談に対し、具体的に回答がもらえたり具体的な場面での援助の仕方がアドバイスされ、実践できている。 ・支援計画を見せてもらいながら、話してもらえるので分かりやすい。 ・集団生活の場面での生活面、友だちとの関わりを見てもらったうえで、様子を振り返りつつ助言があり園生活に沿った内容で分かりやすい。 ・助言は、例え話を交え分かりやすかった。視覚支援教材を作成したいと思う。 ・訪問後の報告書は他の担任とも共有し、自信を持って保育できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助言については、貴園での様子を観察させていただいた上で実施可能なことを先生方と話し合うことができればと思っております。 今後ともよろしく願いいたします。 	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	80%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・とても勉強されていて自信を持っていると感じる。 ・普段気付かない視点からのアドバイスがあり勉強になった。（体幹の弱さなど） ・簡単な手話を教えてもらい、保育に取り入れている。 ・質問に対し、すぐに返答してもらえるので頼もしい。 ・専門的な話を聞くことが出来、知識を高められている。 ・これからの課題を客観的に振り返られる良い機会となった。 ・もう少し、色々な知識についても聞いて知りたいと思った。 ・園での姿を見て、療育先との姿の違いなど聞き、成長を共有でき嬉しい。 ・知識、技術ともに満足。日々保育の中で出来るところを取り組んでいる。 ・実際に補聴器を着けて遊んでもらった。 ・ひばり園での取り組みや、発達に応じた支援を専門的に教えてもらっているが、技術的に対応できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ともわかりやすい資料など活用することでお子様のことと一緒に考えていけるように努めて参ります。振り返りの時間などを作ってください感謝しております。 	

					・特別支援に関する専門的な知識が分かりやすくまとめている資料を使い説明してもらった。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	83%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることに対してアドバイスがもらえた。 ・訪問支援担当者のいる前と普段の様子が違い、ひばり園でのイメージで回答されると保育士が求める回答、思いと異なることがごく稀にある。 ・就学に向けた対応に悩んでいたが、分かり易くアドバイスがあり大変良かった。 ・丁寧で良かった。 ・具体的で勉強になった。 ・ひばり園での様子を尋ねたところ、担当ではないと返しがあつた。事前に尋ねたいことを文書にしておけば良かった。 ・集団を見てもらいアドバイスをもらうのは勉強になるが、中々助言通りにいかないのが現状。 ・ひばり園での活動の様子が聞けてどんなことをしているか知ることが出来た。 ・保育者のことも考えてもらいながら答えてもらっているので質問も緊張せず伝えられている。 ・不安や、疑問に分かりやすく回答している。 ・ひばり園に見学の際もこどもの実態や対応についてすぐに回答がもらえ、情報共有出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時と普段の様子が違うことや訪問の担当が違うことで、質問に対して適切な回答ができず申し訳ございません。訪問時にお子様から見えないように訪問するなどの方法を先生方と検討することで普段の様子を把握できるようにさせていただければと考えております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	65%	18%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのフォローもしてもらい助かっている。 ・園の様子を保護者に伝えてもらい連携が取りやすくなったと感じている。 ・訪問を受け入れたことで、課題が見つかり保育の工夫に繋がって有難い。 ・助言を実践し、さらに連携していきたい。 ・子どもが分かる手話のプリントをもらい日常で使うことが出来助かっている。 ・困ったときに相談できる環境が出来たので良かった。 ・訪問時の打ち合わせが十分に出来ておらず、見学してほしかったが、直接支援に入られた。 ・教材、玩具の選び方、与え方を教えてもらい勉強になった。 ・あまり困ったことはなかったため、現在行っている視覚支援と、目を合わせてのコミュニケーションを取っていこうと思った。 ・実際の園生活を見てもらい、適切なアドバイスがもらえた。 ・生活の中で補聴器が必要なことは分かっているが、加配保育士不足で課題あり。 ・一緒に考えたり教えてもらい相談できたので、不安感が軽減し、確認することが出来た。 ・一日のスケジュールをこどもがよく見るようになったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問事前の打ち合わせとして、本人に対する支援に入らせていただく場合には電話などでご相談するように努めて参ります。 ・当園も保育所での様子を教えていただいたり、お子様のことを一緒に考えていただけることが私共にとっても力になっております。今後ともよろしく願いいたします。

5	事業所からの支援に満足していますか。	85%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・園だけではわからないことに対して援助の仕方など教えてもらえて助かっている。 ・情報交換することで、ひばり園での本児の様子が聞けて良かった。 ・園での困り感に共感していただき、本児の為にどのように関わっていくべきか助言をいただけて良かった。 ・定期的に訪問と参観があり、また電話での対応もしてもらい、大変心強く満足している。 ・いつも丁寧に教えてもらい、感謝している。とても満足している。 ・簡単な手話なども教えてもらえたらと思った。 ・専門の先生の関わり方を直接見ながら学べたので、1つでも多くの手話を覚え、支援に繋げていきたい。 ・しっかりと連携をとれるよう体制を整えていただいているので助かっている。 ・会議をしたり、訪問しあったりして担当者と直接話せる機会を設けていただきとてもありがたい。 ・個別支援と集団支援での様子や対応はまた違うと思うので実際に園での様子を見て、どう対応したらいいのかアドバイスもらい、課題に対してひばり園さんでも対応してもらえるのはとてもありがたく、こどもさんの成長の手助けにならと思った。 	お忙しい中、訪問や訪問後の振り返り、電話での情報交換など対応して頂きありがとうございます。今後も実施できる範囲での支援のご提案、アドバイスをできるように努めて参ります。
---	--------------------	-----	----	----	---	--

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、職員全てにわたり、支えてもらっている。今後も連携しながら、進めていきたい。 ・本児がどこで困っているか声掛けの仕方や支援方法を保育にすぐに取り入れることが出来ている。 ・園での子の様子や保育者の関わりを見てもらいプラスになっている。保育園、療育園と共通の目標を確認し、理解することが出来た。 ・訪問の報告書が届かなかった。 ・ひばり園へ見学に行き子どもの成長につながる関わりが出来ている。 ・相談しやすく時間外にも関わらず電話対応してもらった。困り感が解決し保育しやすくなったことで保育者の自信につながった。ひばり園見学にも行きたい。 ・細やかに対応。助言が具体的で分かりやすいのですぐ実行しようと思った。職員間でも共有出来たので心強く感じた。 ・訪問支援での支援法を日々生かしている。定期的に相談できる機会があるといい。 ・「せんせー」と言葉が出るようになり、今後の取り組みにアドバイスもらいたい。 ・初めての連携。丁寧に具体的だった。保護者の思いを受け止めた上での助言に感謝。 ・園の方針や環境によりすべての助言をうけいれるのは難しい。 ・言葉の切り替えや視覚支援のアドバイスありがとう。 ・訪問支援担当が園に来た際、こどもが嬉しそうに手を引いて案内する姿が印象的だった。丁寧な関わりや手話でのやりとりでこどもが生き生きしていた。訪問回数を増やせないか。 ・こども支援だけではなく保護者支援のためにも連携が大切。 ・支援について悩みが多い。情報共有したい。 ・園の中での個別対応が難しい。ひばり園療育での育ちの上で園生活がスムーズになってきていると感じる。園では、専門的な関わりに限界がある。 	<p>様々なご意見ありがとうございます。またお忙しい中、ご協力してくださりありがとうございます。</p> <p>これからも保護者様、保育所の皆様、ひばり園で連携を図り、お子様にとってよりよい支援に繋げていけるように努めてまいりますのでご協力をお願いいたします。</p>

○事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園			
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 1日		～	令和6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61名	(回答者数)	61名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 9月 1日		～	令和6年 9月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	40園	(回答数)	40園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(言語聴覚士・心理士・保育士)の視点を持った支援(助言)ができる。	幼稚園、保育園からの見学や懇談の機会を随時設けている。 (幼保連絡会) 支援の充実 ・ツールの共有 ・集団と個別、園で一貫した支援と課題への取り組み	・園との連携、相談しやすい関係づくり ・支援のフィードバック ・研修で専門性を高める
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園児一人当たりの訪問回数が少ない。	療育に入らない時間を訪問に当てているが、県内全域が対象のうえ契約者数が多く、実施できる回数に限りがある現状	職員体制の工夫 (職員同士のフォローや、バディーを活用)
2	日常生活動作習得への対応	療育時間の問題 (現在の療育枠の設定では取り組み難い)	園での課題を保護者様と共有し、療育の中で取り組んでいく
3			